

島根原子力発電所の運転状況及び廃止措置状況（令和7年10月分）

中国電力担当分

【1号機】：廃止措置中

【2号機】：運転中

1 運転状況等（中電データ）

号機	炉型	定格 電気出力	営業運転 開始・終了日	10月の設備 利用率(%)	10月の発電 電力量(万kWh)	11月19日の 状況	備 考
1号機	BWR	46万kW	開始 S49.3.29  終了 H27.4.30	—	—	—	別紙1のとおり ※ 平成29年7月28日廃止措置開始
2号機	BWR	82万kW	開始 H1. 2.10	102.4	62,497.4	運転中 (R7.1.10～)	

2 安全協定第9条で規定するLCO逸脱事象（10月20日～11月19日）

該当なし

3 安全協定第10条で規定する異常事象（10月20日～11月19日）

該当なし

4 放射性固体廃棄物管理状況（中電データ）

10月末現在

	10月末保管量（前月比増減量）※2		10月発生量		10月処理量※3		前月末保管量	
	運転中	廃止措置中	運転中	廃止措置中	運転中	廃止措置中	運転中	廃止措置中
ドラム缶保管量（本）	35,694（31）	815（0）	196	0	165	0	35,663	815
その他の種類の保管量（本相当）※1	2,041（0）	16（0）	0	0	0	0	2,041	16
合計	37,735（31）	831（0）	196	0	165	0	37,704	831

※1：容積換算による端数処理の関係で発生および焼却、減容処理の実績が無い場合でも前月保管量と一致しない場合がある

※2：保管能力：45,500本（1，2号機合計）

※3：処理方法：減容処理、焼却処理及び低レベル放射性廃棄物埋設センターへの搬出

5 使用済燃料貯蔵状況（中電データ）

10月末現在（単位：体）

		1号機	2号機	合計
燃料プール貯蔵量		722	2,104	2,826
貯蔵 容量	全容量	1,140	3,518	4,658
	管理容量		2,818	

管理容量＝全容量－（1炉心分※4＋約1取替分※5）

※4：2号機560体

※5：2号機140体の場合

島根県担当分

6放射性廃棄物の放出状況（中電データ）

今月までの放出実績は年間放出管理目標値等を下回っている。

(単位：Bq)

		放射性気体廃棄物（10月）		放射性液体廃棄物（10月）	
		放射性希ガス	放射性ヨウ素（I-131）	トリチウムを除く	トリチウム
原子炉施設合計※5 （今年度累計）		ND※1	ND※2	ND※3	1.8 × 10 <sup>9</sup> (8.7 × 10 <sup>9</sup> )
号機別※6 内 訳	1号機	ND※1	ND※2	ND※3	5.8 × 10 <sup>7</sup>
	2号機	ND※1	ND※2	ND※3	1.7 × 10 <sup>9</sup>
年間放出管理目標値		4.0 × 10 <sup>14</sup>	2.2 × 10 <sup>10</sup>	3.7 × 10 <sup>10</sup>	3.7 × 10 <sup>12</sup> ※4
サイトバンカ建物		－	ND※2	－	－

※1：検出限界値（2×10<sup>2</sup> Bq/cm<sup>3</sup>）未満  
※2：検出限界値（7×10<sup>9</sup> Bq/cm<sup>3</sup>）未満  
※3：検出限界値（2×10<sup>2</sup> Bq/cm<sup>3</sup>）未満（<sup>60</sup>Co代表）  
※4：年間放出管理の基準値を示す  
※5：原子炉施設合計値は、端数処理の関係で一致しない場合がある  
※6：液体廃棄物については放水口別内訳

(排気筒モニタ値及び放水路水モニタ値)

(単位：cps)

		10月分		先月の実績		安全協定で定める 通報基準値
		最小～平均～最大	最小～平均～最大	最小～平均～最大	最小～平均～最大	
排気筒モニタ	1号機	4.9 ～ 5.8 ～ 6.6	5.0 ～ 5.8 ～ 6.7	500※7(1,000※8)		
	2号機	3.0 ～ 3.5 ～ 4.1	3.0 ～ 3.5 ～ 4.1	500※7(1,000※8)		
放水路水モニタ	1号機	2.0 ～ 2.3 ～ 15.4※9	2.0 ～ 2.4 ～ 14.6※9	7※7(70※8)		
	2号機	4.1 ～ 4.8 ～ 7.2	4.0 ～ 4.7 ～ 5.7	8※7(80※8)		

※7：この状態が10時間続くとき  
※8：この状態になったとき  
※9：降雨の影響による指示変動

7モニタリングポストの測定結果(10月分)（敷地境界モニタリングポスト及び環境放射線情報システム）（中電データ、県データ）

(単位：nGy/h)

敷地境界モニタリングポスト（中電管理分）							環境放射線情報システム（県管理分）※10												
	①	②	③	④	⑤	⑥	西境	御津	古浦	深田北	片岡	北講武	佐保林郷	末次	大芦	上講武	手結		
平均値	25	32	37	26	35	32	59	39	34	27	31	35	37	44	43	41	48		
最高値	67	74	79	63	72	62	111	87	76	73	71	96	80	74	93	97	86		
月平均の変動幅	24～27	30～33	34～39	24～27	33～36	28～33	87	69	65	54	61	69	70	70	78	78	74		
過去の最大値	84	88	93	80	90	75	164	129	111	106	112	114	126	102	127	120	111		

環境放射線情報システム（県管理分）※10																	
	手結南	池平	名分	魚瀬	上大野	東長江	比津	持田	大野所	加賀	出雲	安来	雲南				
平均値	30	28	36	37	44	41	40	40	35	37	39	41	31				
最高値※11	77	74	80	82	89	88	94	101	103	79	123	100	73				
平常の変動幅(上限)	64	64	65	66	81	80	69	75	75	70	66	71	54				
前年度までの最大値	100	107	111	107	132	130	97	131	107	104	105	112	91				

※10：県管理分の測定結果は速報値であり、島根原子力発電所周辺環境放射線等測定技術会にて確定  
※11：平常の変動幅（上限）を超えた値は、降水の影響と推定される

（参考）定例プレスでは掲載しない情報の例示

- （1）環境放射線及び温排水測定結果…「環境放射線等調査結果報告書」（四半期報）で公表する。  
（2）地震発生時の発電所の状況連絡… 震度3以上の地震が発生した場合、中国電力から各報道機関へ直ちに連絡することとなっている。